

目次

概要

[MeetingPlace 7.0 は Cisco Unified Communications Manager フロント エンドを必要とします](#)

[オーディオだけ: Cisco Unified Communications Manager 6.0 またはそれ以降](#)

[オーディオおよびビデオ: CUCM 6.1.2 またはそれ以降](#)

[コールフロー](#)

[コールフロー: 最初のダイヤルイン接続](#)

[コールフロー: 会議に加わること](#)

[コールフロー: ?会うことに指示して下さいか。外線](#)

[DTMF サポート](#)

[ターミナルのための基本的な互換性の要件](#)

[よくある H.323 ターミナル障害](#)

[考慮事項](#)

[関連情報](#)

概要

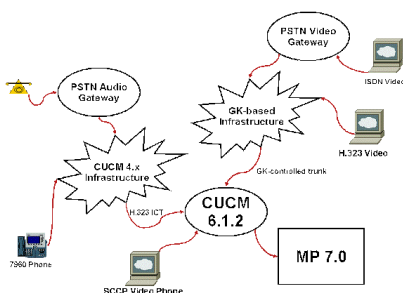
Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 は大企業に音声、ビデオおよび Web 会議 ソリューションを提供する Session Initiation Protocol (SIP) ベースのアーキテクチャです。Cisco Unified MeetingPlace 7.0 は結合されたビデオおよび音声のサポートのための 2 配備をサポートします。使用する配備はエンドポイントによって決まります。

Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 のための唯一のシグナリング プロトコルは SIP です。これらは原因選択しました SIP をです:

- SIP は Reservationless 1 桁アクセス (RSNA) および未来の拡張性機能のために必要です。RSNA はインバウンドコールのために Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションサーバ、Cisco Unified Communications Manager および他の一口可能なコール処理 エージェントによってサポートされる SIP に参照します方式を頼ります。
- SIP は設計でより簡単で、信頼性が高いです。

[MeetingPlace 7.0 は Cisco Unified Communications Manager フロント エンドを必要とします](#)

すべての Cisco Unified MeetingPlace 7.0 インストールは Cisco Unified Communications Manager (CUCM) フロント エンドを必要とします。Cisco Unified MeetingPlace 7.0 は Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1 またはそれ以降を必要とします。ただし、また既存環境と互換性がある残るために Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0(x) を、オーディオ専用 モードで使用できます。



これら二つの配備は Cisco Unified MeetingPlace 7.0 によってサポートされます:

- [オーディオだけ](#)
- [オーディオおよびビデオ](#)

[オーディオだけ: Cisco Unified Communications Manager 6.0 またはそれ以降](#)

注Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1(2) はオーディオ専用およびオーディオビデオのためのいずれの場合も望ましい配置選択です。ディレクトリ同期がほしいと思う場合それが必要となります。Cisco Unified Communications Manager リリースを使用する 6.1(2) はどうかエンドポイント選択を制限しません。ただし Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1(2) にアップグレードしたいと思わない場合、またオーディオ専用 モードで既存環境と互換性がある残るためにまたは Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0(x) を、使用できません。

既に Cisco Unified Communications Manager リリース 6.0(x) を使用している配備に関しては、Cisco はより古い Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 の間の Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1(2) クラスタを置くことを推奨します。

注を除いて別の方法で注意されるように、Cisco Unified Communications Manager がサポートする何でも Cisco Unified Communications Manager を通って接続によって、Cisco Unified MeetingPlace サポートします。

これらはオーディオ専用 モードでのサポートされた配備です:

- **電話**- > Cisco Unified Communications Manager 4.x - > H.323 ICT - > Cisco Unified Communications Manager 6.x - > Cisco Unified MeetingPlace 7.0: H.323 ICT およびない SIP を使用して Cisco Unified Communications Manager 6.x を通して Cisco Unified MeetingPlace 7.0 に Cisco Unified Communications Manager 4.x を接続できます。
- **電話**- > Cisco Unified Communications Manager 5.1 およびそれ以降- > SIP ICT - > Cisco Unified Communications Manager 6.x - > Cisco Unified MeetingPlace 7.0: SIP トランクは Cisco Unified Communications Manager 5.1 およびそれ以降好まれます (しかし H.323 のために良いです)

[オーディオおよびビデオ: CUCM 6.1.2 またはそれ以降](#)

これらはオーディオ ビデオ モードでのサポートされた配備です:

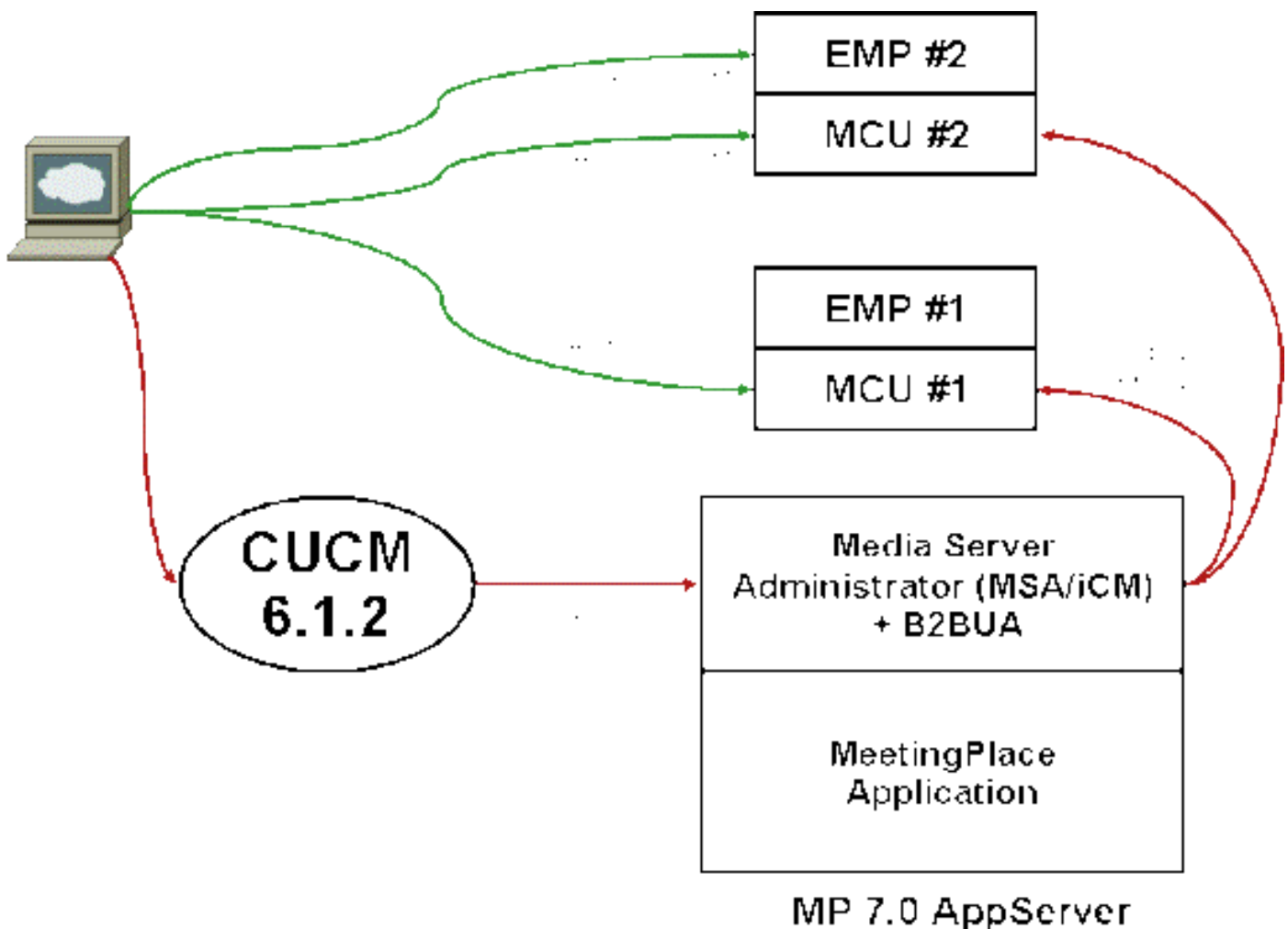
- **H.323 ターミナル**- > Cisco IOS ゲートキーパー クラウド- > Cisco Unified Communications Manager 6.x - > Cisco Unified MeetingPlace 7.0: H.323 ビデオに関しては、Cisco Unified Communications Manager ノードをフロント・エンドにするために Cisco IOS ゲートキーパーを直接接続して下さい。Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 は H.323 エンドポイントにネイティブサポートを提供しません。H.323 エンドポイントを使用したいと思う場合登録、許可およびステータス (RAS) および Cisco IOS ゲートキーパー使用して下さい。Cisco IOS ゲートキーパーは Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1.2 によって信号を送る SIP に H.323 を変換するためにすべてのビデオ呼び出しを発信します。この配備は展開されたビデオソリューションを存在 することを取り扱います。H.323 すべてのビデオ エンドポイントは Cisco IOS ゲートキーパーに登録される必要があります。現在 H.323 によってサポートされるいくつかのビデオ機能は SIP と動作しないかもしれません。この配備は

Cisco Unified Communications Manager リリース 6.1.2 と統合 Cisco IOS ゲートキーパーで制御されたコール制御ドメインを使用します。

- SIP か SCCP 音声またはビデオ -> Cisco Unified Communications Manager リリース 6.x -> Cisco Unified MeetingPlace 7.0 Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified MeetingPlace の SIP トランクの定義によって SCCP または SIP ビデオ エンドポイントを統合できます。

コールフロー

Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションサーバはマスター コンポーネントおよびコンポーネントの他を接続すると同時に機能します。Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションサーバは SIP B2BUA サポートを提供し、Cisco Unified Communications Manager のような他のコール処理デバイスへの SIP 接続があります。Cisco Unified MeetingPlace アプリケーションサーバは Cisco Unified Communications Manager、Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) 電子メールおよび Cisco WebEx サービスによって LDAP デイレクトリ サービスのような外部アプリケーションと統合できます。



次のセクションは Cisco Unified MeetingPlace 7.0 配備のさまざまなコールフローを説明します。

コールフロー: 最初のダイヤルイン接続

これは Cisco Unified MeetingPlace からの最初のダイヤルイン接続および配備のさまざまなコンポーネントのためのコールフローです。

1. CUCM -> MP/B2BUA: INVITE
2. B2BUA -> CUCM: **試みる 100**
3. アプリケーションはかどうかコールを受け入れるために決定します:B2BUA -> MSA/iCM -> コール処理メディア制御プロトコル (CPMCP) -> VUI: **着信コール 通知**VUI -> CPMCP -> MSA: **返事コール要求**MSA は MCU を選択し、B2BUA および MCU をコールに応答するように告げます。
4. B2BUA -> MCU: INVITE
5. MCU -> B2BUA -> CUCM: **200 OK** (オーディオ専用メディア オファー)
6. CUCM -> B2BUA -> MCU: **ACK** (メディアは受け入れます)
7. コール返事応答はアプリケーションに行きます。

コールフロー: 会議に加わること

これは Cisco Unified MeetingPlace からの会議および配備のさまざまなコンポーネントに加入するためのコールフローです。

1. アプリケーションは MSA (iCM) を会うことに参加要素を追加するように告げます。ビデオが提供される場合また示します。
2. ステップ 1 : IVR セッション (または前の会議) へのドロップする接続:MCU -> B2BUA -> CUCM: **誘って下さい** (IP=0.0.0.0; a=sendonly) CUCM -> B2BUA -> MCU: **200 OK** (または a=recvonly a=inactive) MCU -> B2BUA -> CUCM: **ACK**B2BUA -> MCU: **BYE**MCU -> B2BUA: **200 OK** (**BYE**)
3. 一時に、コールは保留中であり、MCU は接続されないし、この短い間隔の間に送信された DTMF は廃棄されます。
4. ステップ 2 : 会うことへの接続を確立して下さい。B2BUA -> CUCM: **誘って下さい** (遅らされたオファー) CUCM -> B2BUA: ターミナルによる **200 OK** (オーディオ/ビデオ オファー、) B2BUA -> MCU: **誘って下さい** (CUCM からのオーディオ/ビデオ オファー) MCU -> B2BUA: **200 OK** (返事、オーディオ ビデオまたはオーディオ専用メディア) B2BUA -> CUCM: **ACK** (MCU からのメディア返事) B2BUA -> MCU: **ACK**
5. CUCM からの最初のオファーは多くの場合がありますか。a=sendonly か。、CUCM が 1 つ以上とネゴシエーションを完了するために追ったら再誘って下さい。これは新しいアドレスおよびペイロードのタイプを設定できます。
6. ネゴシエーションは通常完了しました時か。a=sendrecv か。確立されます。
7. 全二重オーディオチャネルがあるとすぐ、これは発生します:MCU -> MSA -> アプリケーション: **完全追加して下さい**この時点で、プロンプトをし始めることができます。
8. ネゴシエーションが完了するとき、これは発生します:MCU -> MSA -> アプリケーション: **メディア アクティブな通知**: これはビデオがネゴシエートされた示し、ビデオポート 会計のためにかどうか使用されます。

注同じシグナリングはブレイクアウト セッションの間の移動のために使用され、a を開始しますか。#31 外線か。会議、か。#9 か。IVR に戻って下さい。

注シグナリングは内部会議メニューを入力するか、または終了することに (DTMF を除いて) 関連しません。

コールフロー: ?会うことに指示して下さいか。外線

アウトダイヤルに会うことへの指示は非コンフォーミング ターミナルのために特別なセットアップを必要とします。これはセットアップ用のプロシージャです:

1. admin Web では、これらの設定とのビデオ ターミナル プロファイルを追加して下さい:エンドポイント E.164 数 = **ターミナルの電話番号**会議エントリ 音声プロンプトを = **はいスキップして下さい**= **アウトダイヤル** ターミナルに出席の方式
2. 会議をスケジュールした場合、ターミナルを誘って下さい。注これは会合とだけはたつきません。
3. システムは会議開始するでターミナルに外線番号にダイヤルします。ビデオは利用可能である場合、すぐに提供されます。
4. ターミナルは会議に直接入ります。これはビデオ拡大またはメディア転送を必要としません。会議が 1 つを必要としても必要なパスワードチェックがありません。

DTMF サポート

Cisco Unified MeetingPlace 7.0 はこれらの DTMF シグナリング メソッドをサポートします:

- **RFC-2833** (特別なインバンド メディア パケット) RFC-2833 は Cisco Unified MeetingPlace および Cisco Unified Communications Manager によって好まれますが、Cisco Unified Communications Manager 4.x に、および H.323 ICT を含む H.323 登録されている、Cisco Unified IP Phones から利用可能使用するときではないです。また、いくつかのターミナルは、たとえば Cisco 7985、RFC-2833 をサポートしません。
- **KPML** (帯域 (OOB) から: H.245 および SCCP に容易に変換します) Cisco Unified Communications Manager は RFC-2833 に出入して MTP の挿入によって OOB を変換できます。MTP 挿入はビデオがあることができないことを意味します。SIP を使用するとき 4.x が SIP トランクでこれ、および常にする Cisco Unified Communications Manager は Cisco Unified Communications Manager 4.x とトランキングします DTMF およびアーリー オファー (Early Offer) サポートのための MTP を割り当てるために、すべての SIP トランクが必要となります。MTP を避けるために、規定できますか。か。Cisco Unified Communications Manager SIP トランクの DTMF のため。
- インバンドトーン (従来の PSTN エンコード; G.711 とだけうまく作動します)

ターミナルのための基本的な互換性 の 要件

これらは Cisco Unified MeetingPlace 7.0 と完全に対応するターミナルのための必要条件です:

- ターミナルは Cisco Unified Communications Manager と互換性がある必要があります。これをテストするために、フロント・エンド Cisco Unified Communications Manager に Cisco Unified IP Phone 7985 (または Cisco Unified IP Phone 7960+ Cisco Unified Video Advantage) を置いて下さい。ターミナルからの Cisco Unified IP Phone 7985 を呼出することができない場合 Cisco Unified MeetingPlace を呼出することができません。
- ターミナルはメディア転送をサポートする必要があります。1 Cisco Unified IP Phone 7985 から別のものにコールを転送できるかどうか確認して下さい。H.323V4 空機能一定 (ECS) コール転送 仕様 サポートを参照して下さい。
- ターミナルはビデオ拡大をサポートする必要があります。Cisco Unified IP Phone 7985 に Cisco Unified IP Phone 7960 (オーディオだけことを)、転送からのターミナルを呼出す呼出ことができ、ビデオを受け取ったかどうか確認して下さい。


よくある H.323 ターミナル障害

- ターミナルは ECS メディア転送を誤って処置しますか。時々、ターミナルはマスター・スレーブ判断を要求に応じて待っていません。その結果、コールはドロップされます。この問題はより古いターミナルとよくあります。
- ターミナルは IVR 接続の後で (TCS) 設定される オーディオ専用ターミナル機能を報告しますか。ターミナルはビデオをサポートできることを Cisco Unified Communications Manager が確認する必要があるためこれはビデオという結果に終わりません。
- 最初の接続からのベアラケーパビリティへのターミナル制限自体か。これはビデオという結果に終わらない Cisco Unified MeetingPlace 外線の後でビデオ拡大にオーディオを防ぎます。注これは最初の H.225 セットアップメッセージの一部としてターミナルに送信される Q.931 ベアラケーパビリティを示します (ターミナルに着信コールのためにだけ)。これらの機能はどんな帯域幅がコールに必要なかのヒントです。コールがオーディオだけとして開始するとき、ビデオのため十分ではないターミナルは一般的に 64Kb チャネルのためのベアラケーパビリティを受け取ります。会議に加わるそれが時間来るときビデオ 機能を提供するためにターミナルは 64Kb チャネルに決定した場合かどうかそれ自身を制限するべきではありません。
- ターミナルはオーディオ専用モードかオーディオビデオモードにあるかどうか判別する手動スイッチを備えているターミナル。次の理由でこの並べ替えの手動スイッチが付いているどのターミナルでも Cisco Unified MeetingPlace とうまく作動しません:それはオーディオ専用を時コールセットアップ障害という結果に終るビデオモードで接続しません。それはビデオに時ビデオという結果に終わらないオーディオモードで増えません。

考慮事項

- すべての Cisco Unified IP Phones はうまく作動する必要があります。ただし、Cisco Unified IP Phone 7985 のファームウェアのバージョンをチェックする必要があります。
- Cisco Unified Personal Communicator、Cisco IP Communicator および Cisco Unified Video Advantage はうまく作動する必要があります。ただし、ソフトウェアバージョンを持つために確かめて下さい。
- TelePresence ターミナルはオーディオだけとして接続します。
- サードパーティターミナルは予想通りはたらかないかもしれませんし、かもしれないしファームウェアのアップグレードは場合によっては助けることができます。 [Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 のためのシステム要件および互換性マトリックス](#)を参照して下さい。
- ほとんどのターミナルはを使用しますか。会うことに指示して下さいか。Cisco Unified Communications Manager と互換性がなかった場合まったく、を除いて外線番号にダイヤルして下さい。

関連情報

- [Cisco Unified MeetingPlace リリース 7.0 のための計画ガイド](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace サポート](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#) 
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)